

# 市政を問う

## 一般質問

### 一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



◀ Youtube はこちらからご覧いただけます。



### 親なき後について

久米原 孝子 議員



**議員** 日本財団が昨年10月に障がいのある方のご家族を対象に行った調査で、親なき後に不安を感じているご家族が85・5%の結果でした。ご家族が将来に対して強い不安を抱え相談支援の充実が強く求められていることが分かりました。親なき後の相談体制は、どのようになっていますか。

**福祉部長** 障がい福祉課では、障がいのある方やご家族などからの親なき後に関する相談を受けています。相談者が不安に思っていることや困っていることを丁寧に伺いながら、一緒に課題を整理し、その上で、現在できることや将来に向けて準備することなどについて提案もさせていただいております。

**議員** 今からできる必要な準備や各種支援事業、障がい福祉サービスなどを分かりやすくするために

- ◆ 掲載以外の質問項目
- ◆ 高齢者の安心できる取組について
- ◆ FAXレスについて
- ◆ 犯罪被害者等支援について

### 感震ブレーカーの助成制度について

山宮 留美子 議員



**議員** 感震ブレーカーの普及について、国では緊急対策推進基本計画の改定案をまとめました。その内容は、大地震が発生した際に、最も懸念されるのが建物倒壊と、その後に発生する通電火災であるとしています。

**危機管理監** 感震ブレーカーについては、地震火災対策の有効な手段として、今まで以上に市民に周知を勧めながら、認知度を高めつつ、助成制度についても検討をすすめていきます。

**議員** 市民の命と財産を守るのも市の大切な役割です。早急な対応を要望致します。

### 不登校・ひきこもりについて

**議員** 不登校の児童生徒が年々増加している現状の中で、義務教育が終わった後に、引きこもり状況に繋がる例も少なくありません。市の対応についてはどのように行われているのかお聞きいたします。

**福祉部長** 把握するのが難しい状況ではありますが、相談内容に応じて必要機関へと繋げ、相談者に寄り添った支援に努めてまいります。

札野 章俊 議員

## 市内公共交通の再編成について



**議員** 竜ヶ崎線が廃線を含め今後の方針を決定することですが、今後の公共交通運営について伺います。

**市長** 都市の規模、既存公共交通との共存、財政負担など、多面的、多角的な検討を要する大規模な都市インフラ事業になると認識しており、本市の状況を鑑みますと、ライトレール導入の検討を行う段階にないと考えています。

**都市整備部長** 「廃止ありき」や「存続ありき」といった前提は置かず、情報共有や協議会を行っていきながら、想定される運営の一つとして、「竜ヶ崎線を維持する」という展開、また別の展開として「竜ヶ崎線を廃止する」という展開があると思います。

廃止となった場合の代替手段として、民間路線バスやコミュニティバスによる代替のほか、専用道の整備やバスなどが優先的に通行できるBRTとしての運行などが候補の一つとして挙げられます。

**議員** バスの運転手不足が問題です。永続的に市民の足になり得るのか不安です。

ライトレール構想について

大野 みどり 議員

## おはようSUN訪問収集事業について



**議員** この事業は、平成15年から実施され、家庭ごみをごみ集積所まで持っていくことが困難な高齢者や障がい者を対象に、職員が玄関先まで個別に収集に伺い、あわせて安否確認を行うものです。現在の利用状況は89世帯。足腰が衰え、ごみ出しに困難を抱えている方が多くなっています。

私が2年前にも質問したのは、要介護認定に至らない要支援者の方であつても対象者の要件に入れて、困っている独り暮らしの高齢者の方々を救済してほしいということです。

「おはようSUN訪問収集」の対象者を、要支援や要支援2まで拡大することについて、当市の見解を伺います。

**都市整備部長** 議員がおっしゃるように、要支援や要支援2などの真に支援を必要とする方を基本制度の中にすくい上げるための要件緩和について、具体的な制度設計を進めてまいりたいと考えております。

**議員** 前向きなご答弁ありがとうございます。

市のホームページの内容ですが、つくば市では申請窓口、申請できる方、郵送でも申請できること等、丁寧に掲載されています。当市においても他市町村を研究しホームページの更新をよろしくお願いいたします。



### 掲載以外の質問項目

◆eスポーツの取組について

◆低出生体重児（リトルベビー）等の支援の取組について

油原 信義 議員

## 龍ヶ崎市街地の活性化策について



**議員** 中心市街地は商業型拠点施設の整備が必要と考えるのが一般的か。

**市長** 人口減少の中で、中心市街地に限ったことではありませんが、新たな公共施設を整備することは慎重にならざるを得ないと考えています。

中心市街地では、民間による新たな動きが出てきていますので、その状況を見守りながら、行政として必要なアクションを起こしてまいります。

**議員** 図書館の機能は大きく変わって続いています。誰もが気軽に足を踏み入れ、様々な人と交流する公共空間を創り出し、地域の情報の拠点だけでなく、地域の人々が交わるまちづくりの拠点機能を持っています。

当市の図書館の機能拡充のタイミングで、まちなかへの複合交流拠点施設として整備を検討していきたい。

## 空き店舗から広がる新たなまちづくり

山村 尚 議員



**議員** 民間発意で空き店舗を活用したアートイベント「龍ヶ崎ストリートギャラリー+」には約500人が来場し、その4割が市外から訪れ、まちなかに新たなにぎわいが生まれました。こうした人の流れや新たな交流は、本市の新たなまちづくりの可能性を示した取組と考えます。

こうした活動を広げ、将来の地域活力につながるため、市はどのように取り組んでいきますか。

**総合政策部長** 若者が地域と関わる機会の創出や、市民主体の活動への支援は重要と考えています。関係者との連携を図りながら、地域に関わりやすい環境づくりを進め、持続的な地域活性化につなげてまいります。

このような市民主体の活動を、市はどのように評価していますか。

**市長** アートを通じて人の流れや交流を生み出し、まちなかの活性化につながる好事例と認識しています。

市民や民間事業者の主体的な活動は、本市の魅力向上や新たなまちづくりにつながるものと考えております。

**議員** 人口減少が進む中でも、地域の未来を支えるためには、若者や市民

## 「コンテンツ地方創生によるまちおこし」について

大竹 昇 議員



**議員** 議員活動の中で皆様から寄せられる声は、人口減少による財政や治安への不安、雇用創出やインフレ対策です。円安を背景にインバウンド観光が勢いを増している中、内閣府が「コンテンツを活用した地方創生拠点都市」の取組を進めています。その趣旨についてお聞かせください。

**総合政策部長** コンテンツ観光振興型は、食や文化等の地域資源とコンテンツの魅力による新たな価値を創造し、観光等を通してインバウンド誘客や消費拡大の地域の価値の向上を生み出す取組。コンテンツ産業振興型は、地域発のコンテンツ創造やクリエイター育成、関連企業の集積・誘致等です。複合型は、観光振興型と産業振興型の双方を併せ持つ複合的な取組です。

**議員** コンテンツ地方創生拠点を活用したまちおこしについて市長の考えをお聞かせください。

**市長** 龍ヶ崎フィルムコミッションの活動によるテレビドラマ「366日」にとどまらず、今後ともコンテンツと地域資源の融合による地域活性化を推進していきます。

## 自転車の交通ルールについて

後藤 光秀 議員



**議員** 4月から自転車の交通反則通告制度（青切符）が施行されました。私はこれまで、自転車利用者の安全確保の観点から、自転車専用通行帯やブルーライン等の整備を提案してまいりました。交通ルールが強化された以上、自転車利用者にルール遵守を求めるだけでなく、安全に通行できる環境整備も進めるべきと考えますが、改めて

本市の見解を伺います。**都市整備部長** 路面表示は安全意識を高める有効な手段と認識しております。県と情報共有を行っており、今後の道路整備等に合わせ、自転車専用通行帯や矢羽根表示等の導入を検討してまいります。



## 学生服取扱店との連携について

**議員** 少子化や学校統合が進む中、市内の学生服取扱事業者から過去の情報共有についてご意見を伺いました。学校統合の方針に加え、翌年度の入学見込み数などについて、情報共有のあり方を協議してまいります。

**教育部長** これまでは学生服取扱店との情報共有が十分ではありませんでした。今後は学校統合の方針に加え、翌年度の入学見込み数などについて、情報共有のあり方を協議してまいります。

岡部 賢士 議員



## 人口減少対策

### 「土地利用構想の見直し」

**議員** 人口対策を考える場線沿いの土地利用について、JR龍ヶ崎駅周辺の可能性が一番ポイントになる。駅周辺の若柴台の下地区を含め、駅から市役所方面へ延びる県道停車場線の周辺地区を市街化編入等により、開発可能にすべきと考えるが、市長の見解を。

**市長** 若柴台の下地区においては開発の実現可能性を踏まえた土地利用の検討を進めたい。県道停車場

### 「人口対策を意識した公共交通の再編」

**議員** 特にJR駅へのアクセス、利便性向上を考えていくべきと考えるが、市の見解を。

#### 都市整備部長 JR駅を

軸とした移動需要は民間事業者の主なターゲットとなつていことから、民間との競争が発生しかねないという懸念もある。

**議員** 市の今後のことを

一番に考えた上で、人口対策を意識して、公共交通再編の検討を進めるよう要望する。

**掲載以外の質問項目**

- ◆移住・定住促進の取組
- ◆防犯カメラの増設を！
- ◆環境美化へ向けた取組
- ◆公共施設里親団体やボランティア活動に対する謝礼のための予算付けを

伊藤 悦子 議員



## 「牛久沼東岸」市有地の整備について

**議員** 牛久沼の整備は「今のままの自然を生かし、お金を使わない活用を求め」などの声があります。費用と整備方針を伺います。

**議員** 全体工事の概算はいくらですか。

**総合政策部長** 基本設計業務の中で試算するので現在のところ算定は行っていないです。

**総合政策部長** 市民の意向に沿い安全性の確保とコスト縮減を前提に、夕陽を生かす交流の場として、駐車場・園路・多目的広場等最小限の整備・事業費設計費で1期工事は2億3000万円です。

## 「高市首相の戦争をできる国への発言」の市長の認識について

**議員** 高市首相は施政方針演説で憲法を変える国会発議が早期に実現できることを期待すると述べました。核兵器廃絶平和都市宣言都市の市長として高市首相の憲法を変え、戦争できる国にしようとしていることへの認識を伺います。

**市長** 現在、ウクライナやイランなど国際情勢に強い

加藤 勉 議員



## 医療機関の新規開院等を促す補助制度の構築を！

**議員** 10年前と比べると、開院から25年を迎えて市内医療機関（歯科医院を除く）の数に変化はあるのでしょうか。

**健康スポーツ部長** 10年前は41か所の医療機関がありました。現在は37か所の医療機関となっています。

**議員** 小児科専門医院を始め、市内での医療機関の新規開院や事業承継のケース等も想定した補助制度をあらかじめ設けておくことで、医療機関の受け入れ環境を整えておくべきではないでしょうか。

**市長** 本市医療体制は、一般診療所と地域医療支援病院である龍ヶ崎済生会病院との連携により確保・充実されていますが、龍ヶ崎済生会病院については、医療人材の確保や物価高騰への対応、周産期医療や小児医療が運営面での負担が大きいこ

と、開院から25年を迎えて医療機器や施設の老朽化への対応等も控えている等、厳しい経営環境にあるようです。

現在、龍ヶ崎済生会病院に対しては病院運営費補助金交付要綱による財政支援を行っており、一般診療所については、新規開院に向けた補助制度を検討するための先進自治体の調査・研究を行ってきたところです。

今後は、これまでの調査結果を参考に、市医師会の意見を拝聴しながら、新規開院に止まらず、既存診療所の事業継承を含め、一般診療所の確保に向けた支援制度を構築し、将来にわたり最適な医療を受けられる地域医療体制の維持に努めてまいります。



## 「アートの力で空き店舗とまちなかを再生へ」

石引 礼穂 議員



**議員** 市民発の「龍ヶ崎ストリートギャラリー」は延べ400人以上を魅了した。こうした市民の自発的なエネルギーやアートの力こそ、持続的なにぎわいをつくる鍵であり、子どもの感性を育む財産だ。

**市長** 今ある地域資源にアートを掛け合わせ、地域への愛着や誇りを醸成するまちなか再生のヒントとして、今後も対話を重ねる。

空き店舗活用が進捗と、特色あるアートのまちなかづくりへの決意は。

**総合政策部長** 令和9年4月開始の次期対策計画



## 「じぶん龍」で描く幸せな暮らし

**議員** 市民が自分らしく主体的に動く「じぶん龍 ACTION」に大いに共感する。一過性の広告で終わらせず、ストーリーギャラリーのように実際に活動する市民と連携し、独自の都市戦略として推進すべきだ。今後の展望は。

**市長** 「何もない」という言葉の裏には、自分流の暮らしを自由に描ける「余白」がある。「幸せをつかめるまちなかづくり」を掲げ、この街で生きる皆さんの幸福度を高めたい。全国で唯一、市名に龍を冠する街として、その力強さを生かし力強く推進する。

## 一人暮らし高齢者（3521人）支援体制が急務!!

杉野 五郎 議員



**議員** 今回の社会福祉法改正案で、福祉サービス援助事業はどう変わりますか。

**福祉部長** 判断能力の十分な方に加え、判断能力があっても頼れる身寄りのない高齢者等が対象となります。又、日常生活自立支援事業に加え、入院等の手続支援、死後事務の支援もサービスの対象となります。

**議員** これまで課題であった身寄りなき高齢者への対応が、法律で義務化されるのですね。特に死後事務の支援は大変かと思えます。これらの事業は社会福祉協議会が担うとされていますが、現体制で大丈夫でしょうか。

**福祉部長** 現行に比べて、対象者及び事業内容が大きく拡張されます。人材と財源の確保等の課題があり、改正案の詳細

について情報収集を進めて参ります。

**議員** 市としても、対応可能な体制づくりを急がれるのではないですか。市長はどう認識されていますか。

**市長** 一人暮らし高齢者が、年々増加傾向にあり、高齢者を取り巻く状況は益々厳しくなっていることを認識しております。一人暮らし高齢者の問題については一朝一夕に解決できる問題ではなく、その解決にはあらゆる関係機関との連携が不可欠です。

## 1億3000万円。そのお金 使途不明

大野 誠一郎 議員



**議員** スポーツクライミングのユース大会の見積書は収入1185万円、支出が2390万円、最初から赤字、こうした見積りはあるのですか。

**健康スポーツ部長** 業者のほうから提出された適正な見積りということですね。金額が黒く塗られています。それ自体が甘い、過大な見積りです。領収書は頂いていますか。

**健康スポーツ部長** 大会の運営につきましては、市の委託費に加え受注者が募集する協賛金や参加者負担金を財源として構成しており最終的な収支ギャップ（赤字）については受注者が負担する取り決めとなっています。

**議員** 赤字は受注者のデロイト社が負担したという事です。

**健康スポーツ部長** 領収書については、徴収していません。

**議員** 見積り、決算の黒塗り。領収書もない。市民に対して説明ができない。1億3000万円の使途不明金です。

### 掲載以外の質問項目

- ◆公共交通再編について
- ◆牛久沼東岸市有地の整備方針について

## 本市における遊休農地対策に

櫻井 速人 議員

ついて



議員 龍ヶ崎市ののどかな景観の一つでもある水田や農地については、高齢に伴い耕作が出来ないなどの理由で遊休農地を抱えている現状にあります。自身も今期、高齢の方からそういった理由で水耕を請け負い、一から田植えに挑戦し、新規就農ハードルが高いことを実感いたしました。

市内における遊休農地は地理的要因、物理的要因、人的要因。この3つの要因から整備が行き届かず、耕作が困難な状況にあるということですが、この分析を踏まえて現在どのような対策がとられているでしょうか。

**市民経済部長** 本市では、農業経営基盤強化促進法に基づき地域計画の策定を推進しているところです。これは10年後の農地利用の設計図を地域全体で作り上げるもので



### 掲載以外の質問項目

◆小中学校統合による空き校舎への対応について

# たつのこ ワクワクワーク

8月20日～30日に開催される子ども向け職業体験イベントである「たつのこワクワクワーク」に議会のお仕事体験が新たに加まりました。

参加したお子さんたちに議場の見学や議会でのどのようなやりとりを行っているか体験してもらい、議員の仕事や人との関わりを通して、地域への理解や愛着を深めることにつながってもらえたらと考えています。

開催日当日の様子については、次回の議会だよりでご報告します。



## 龍ヶ崎市議会だより（まいりゅうレポート）の「表紙写真」を募集しています

### ▶募集内容「龍ヶ崎市議会だより」の表紙写真

- ・応募者本人が龍ヶ崎市内において1年以内に撮影したもの
- ・未発表のもの
- ・デジタルデータで提供できるもの
- ・人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けているもの
- ・個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けているもの



▲募集の詳細については  
こちらからご覧ください

### ▶応募資格 市内在住・在学・在勤の方

### ▶応募方法 / 応募先

①応募者（撮影者）の氏名、住所、連絡先、②撮影年月日、③撮影場所、④写真のタイトル・一言コメントをご記入のうえ、メール (gikai@city.ryugasaki.lg.jp) によりご応募ください。

### ▶応募期間 年間を通じて随時受付します